

☎ 文書館直通 0268 - 67 - 3312
文化スポーツ振興課 直通 0268 - 71 - 0670
✉ メールアドレス bunshokan@city.tomi.nagano.jp

大坂御城之図 現代図と見比べませんか？

大河ドラマ『豊臣兄弟!』(NHK)が放映されています。補佐役に徹した「秀長」をスポットに当て、信長から無理難題をむちゃ振りされつつも、困った秀吉が秀長に泣きつきながら問題を解決し、秀吉の陰に日向に補佐しながら戦功を上げていくストーリーが楽しみです。当文書館に所蔵する文書の資料から、『大坂城』に関わる資料をご紹介します。

大坂御城之図 天明五年 (牧野八郎左衛門文書管理番号 181)



国土地理院 地理院地図より

(絵図の形に合わせるため上下逆さまです)

江戸時代後期の大阪城の縄張り絵図の写しです。大きさはA3サイズ程です。天明五〇極月写とあり、主君である牧野康陸(やすより)公が天明六年(1786)に大阪加番となったことに関連する史料と考えられます。加番とは大阪城警護のための予備軍です。門や枡形の配置、井戸の位置、外堀の長さなど詳しく描かれています。

現在の大阪城は江戸時代に大規模に修築されたもので、残念ながら豊臣時代の遺構ではありません。また、二代目の天守閣も当時焼失(1665年)していました。現在の天守閣は昭和6年に復興されたもので三代目となります。

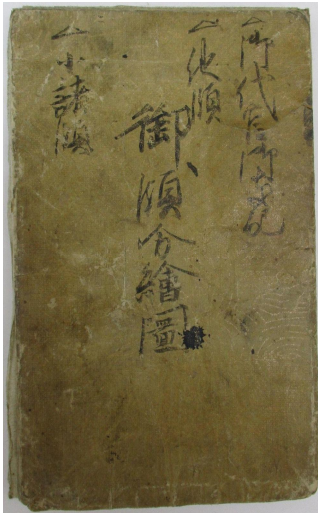
令和7年度中に公開となった古文書から①

小諸領を中心に描かれた絵地図 白倉家文書（管理番号8）

白倉家文書は、八重原白倉家に伝わる資料で、白倉家は江戸時代初期に八重原に移り住んだ浪士を出自とすると伝えられています。その史料のある小諸領を中心に描かれた絵地図をご紹介します。

小諸領を中心に描かれた絵地図

表紙



△小諸領

御領分絵図

△他領

△御代官御支配



小諸領を中心に描かれた絵地図です。本史料の作成年代は不明ですが、表紙に、「△御代官御支配 △他領 △小諸領 御領分絵図」とあり、白倉家文書に収められた経緯は不明です。大きさはA2サイズ程で折りたたむことができ、表紙と裏表紙が付いています。

絵地図には、小諸藩領の範囲を示したものと考えられ、北は浅間山、南は八ヶ岳、東は馬瀬口村（現御代田町）、西は下丸子村（現上田市）の範囲が描かれています。また、各村の石高、村間の距離、寺などが地図上に記されており、村間の距離では、桜井村と布下村の距離は十三町（約1.4km）と記載があります。

幕末の小諸藩の領地は佐久郡のうち46村、小県郡のうち16村を範囲としていました。